

宇都宮東ライオンズクラブ旗
第2回栃木県6年生学童軟式野球大会要項

大会テーマ 「感謝を胸に全員野球、」

1. 趣 旨

この大会を通して、参加する選手及び保護者一同が、競技に参加できる喜びや支えてくれる多くの方々への感謝の気持ちを改めて実感する機会を広く提供すると共に、相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることを目的として実施する。

2. 主 催

宇都宮東ライオンズクラブ、栃木県6年生学童軟式野球大会実行委員会

3. 後 援

栃木北ベースボールスピリッツ、栃木県おもいでリーグ連合会、
栃木県審判員有志会、参加チーム保護者会一同

4. 協 賛

株式会社石野内装、おまかせ屋

5. 試合方法

1日目：予選リーグ、2.3.4日目：決勝トーナメント

6. 開催期間

予選リーグ 令和5年2月4日(土)

決勝トーナメント

一回戦 令和5年2月5日(日) (予備日:11日(土),12日(日))

準々決勝・準決勝 令和5年3月19日(日) (予備日:21日(火))

決勝戦・3位決定戦 令和5年3月25日(土) (予備日:26日(日))

注) 参加チーム数により大会日程は変更とする

7. 試合会場

参加チーム及び事務局で手配したグラウンドを使用する。

8. チーム編成

栃木県の小学6年生の学童少年野球チームの混合チーム(単独可)とする。

監督1名・コーチ2名・選手(制限なし)

9. 競技規則

「2022年度公認野球規則」及びリーグ戦特別規則を適用する。

10. 代表者会議

日 時：令和4年12月17日(土)18時00分開会 ※受付17時30分

場 所：宇都宮市東市民活動センター第1会議室(住所)栃木県宇都宮市中今泉3丁目5-1

参加者：代表者及び主将の2名

11. 開会式

日 時：令和5年1月22日(日)10時00分開会 ※受付9時30分

場 所：宇都宮市駒生運動公園野球場A(住所)栃木県宇都宮市鶴田町3,669番地

参加者：代表者、主将とその保護者の3名 当日はプラカードを持参すること

注) 雨天の際は中止とする。

12. 閉会式（表彰式）

日 時：令和5年3月25日(土) ※決勝戦終了後

場 所：調整中

表 彰：優勝・準優勝・3位

13. 参加申込及び参加費

参加を希望するチームの代表者は、12月4日（日）までに、参加申込書（Excel）に必要事項を記入の上、メール添付にて申込むこと。その際、参加申込書は Excel データのまま添付すること。

Mail: the6thgradebbl.tochigi@gmail.com

参加費は無料。ただし、各試合会場にてグラウンド使用料及び審判の昼食代を均等に負担すること。

注）参加チーム数が上限に達した時点にて締め切りとする。

14. 順位決定・表彰について

予選リーグ：最終勝利数の多いチームを上位とする。勝利数が同じ場合は引分け数の多いチーム、全て同じ場合は得失点差とする。

表 彰：優勝，準優勝，3位

15. 服装・用具

- 1) ユニフォームは、従来使用していたチームの物で良いが、背番号は必ず着用のこと。
- 2) スパイク（金属製のものは禁止する）は、必ず着用のこと。アップシューズの着用は可とする。
- 3) 打者・次打者・走者・ベースコーチは、JSBB 公認の両耳付ヘルメット、捕手は、公認マスク・プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・アンダーカップを必ず着用のこと。
- 4) 監督・コーチもユニフォーム又はスポーティな服装とする。

16. 保険・健康管理

- 1) 本大会に関わる一切の事故・負傷については、各チームの責任で対応すること。
- 2) スポーツ障害保険等の加入は各チームで手続を行うこと。
- 3) 各チームの監督・コーチ・代表者及び保護者は、責任を持って選手の体調を把握し、大会に臨むこと。

17. その他

- 1) 本大会は、親交を深める目的であり、競技中に相手チームが不愉快になる様な行為・言動は慎み、感動的なプレーを称賛し、選手達に暖かい応援を心掛けること。
- 2) グラウンド責任チームは、リーグ戦結果報告書（Excel）を、当日中に事務局まで報告すること。
- 3) グラウンドコンディション不良等による中止の場合は、必ず事務局に報告すること。ただし、自己都合（他の大会や行事との重複等）による中止及び延期については認めない。
- 4) ゴミは全て持ち帰り、特にタバコのポイ捨ては、絶対にしないこと。
- 5) その他、不明な点は、事務局まで問合せすること。

※別紙 試合方法、ガイドラインも併せて確認してください。

栃木県6年生学童軟式野球大会
実行委員会事務局

宇都宮東ライオンズクラブ旗
第2回栃木県6年生学童軟式野球大会
試合方法

1、組合せ

予選：代表者会議において、各チーム主将による抽選にて決定する。

決勝：予選結果により、トーナメント表へ反映する。

2、試合会場

参加チーム及び事務局で手配したグラウンドを使用する。

3、使用球・距離

使用球：M球（再利用球を可とし、新球に限らない）

距離：一般距離

4、試合方法

予選：1日2試合のリーグ戦とする。予選上位2位チームが決勝トーナメントに進出する。

決勝：予選上位16チームによるトーナメント戦とする。

※試合会場では密にならないよう考慮すること。

5、試合時間

1) 第1試合／9:00開始を基本とするが、試合会場の開場時間、グラウンドコンディション等により、責任チームの判断で調整すること。

2) 7回戦とし、試合の成立の回数に関係なく100分を基本とする。(90分を越えて次回に入らない)

3) 予選：同点の場合は延長戦は行わず、引分けとする。

決勝：3回を終了して15点差を生じた時は、コールドゲームを適用する。5回を終了して7点差を生じた時は、コールドゲームを適用する。ただし、決勝戦についてはコールドゲームを適用しない。

同点の場合は、時間内でも延長戦を行わずタイブレイク方式を適用し勝敗を決する。

*タイブレイク方式：継続打順とし前回の最終打者を一塁走者として、二塁走者は前の打者とする。つまり無死一塁、二塁の状況で1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。この場合、通常の延長戦同様、規則によって認められる選手の交代は許される。尚、1イニング行ったが勝敗が決しない場合は、抽選（ポジションによるくじ引き）によって勝敗を決する。

《抽選手順》

1 審判員及び試合の終了時に出場していた両チームのメンバーが、終了挨拶の体形で最終打席順に整列する。

2 ○印・×印を各9枚記入した用紙を封入した封筒を用意する。

3 球審が18枚の封筒を扇形に持ち、先攻チームより交互に選ばせる。

4 二人の審判員は両チームの選んだカードを集め、選手をベンチに戻し、両監督に相手チームの開封に立ち合わせる。一塁審は一塁側、三塁審は三塁側のカードを集める。二塁審は、球審の補助をする。

5 ○印の多いチームを抽選勝ちとする。尚、立ち会う監督に諸動作で事前に勝敗がわかる様な仕草をさせない。

6 全選手を整列させ、球審が勝ちチームを発表し、「ゲーム」を宣告する。(○×の数で「何対何」と言わない、勝ちチームはAなら「A」と宣告する)

4) 出来るだけ15:30頃には全試合を終了し、試合会場整備後、速やかに解散すること。

6、投手の投球制限

投手の投球制限は1人1日5回とし、選手への負荷を考慮すること。

7、結果報告について

グラウンド責任チームは、各試合終了次第、速やかに事務局までグループLINEにて報告すること。

また、試合結果報告書(Excel)を、当日中に事務局までグループLINEにて提出すること。

※写真付きメール可

8、順位(成績)について

予選：最終勝利数の多い上位2チームを予選通過とする。勝利数が同じ場合は引分け数の多いチーム、全て同じ場合は得失点差とする。(勝ち：3点、引分け：1点、負け：0点)

決勝：優勝、準優勝、3位を表彰する。

9、選手の起用について

予選：1日1チーム2試合を行うため、登録選手は必ず全員出場させ、出場機会も出来るだけ均等となるよう配慮すること。

決勝：登録選手の出場機会が出来るだけ均等となるよう配慮すること。

10、責任チーム

1) 基本的に試合会場提供チームがグラウンド責任チームとなり、試合会場の準備を行い、開始時間及び進行方法を決定すること。また、各チームから公式審判員の昼食代の取りまとめ及び用意を行うこと。

2) 抽選に使用するくじについては、グラウンド責任チームにて、○×各9枚を記載した用紙を封入した封筒を用意すること。

3) 試合中の事故やトラブルについては、グラウンド責任チームの判断に基づいて対処すること。

※事務局手配の試合会場の場合はグラウンド責任チームを事務局にて決定する。

グラウンド責任チーム以外のチームは試合会場の準備や整備等に協力し、サポートを心掛けること。

※その他不明な点は事務局に問い合わせること。

栃木県6年生学童軟式野球大会
実行委員会事務局

宇都宮東ライオンズクラブ旗
第2回栃木県6年生学童軟式野球大会
新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

本ガイドラインは、宇都宮東ライオンズクラブ旗第2回栃木県6年生学童軟式野球大会期間中のコロナウイルス感染拡大の防止、感染対策を行った状態でプレーをする場合の安全確保を目的とするものである。

本ガイドラインは、今後の県及び近隣地区のコロナウイルスの感染状況や大会の運営状況に合わせ必要に応じて改訂するものとする。感染拡大防止のため、参加チーム、会場提供チーム、事務局が協力して行う必要がある。

遵守事項

- ①試合当日は、必ず検温を行い、37.5℃以上の者はチームに同行させない。家族が発熱した場合も、その選手は参加させない。チーム内に陽性者及び濃厚接触者がいる場合は速やかに事務局へ報告すること。
- ②各チームは試合に参加する選手、指導者、保護者等チーム関係者について、当日会場に来ている者の氏名と試合日、会場をチームの責任で記録して保存しておくこと。保存期間は2週間とする。
- ③選手はプレー中以外マスク着用。指導者、チーム関係者、保護者等は試合中もマスクを着用すること。
- ④密にならないようベンチに入れる選手を制限し、他の選手はベンチ外で待機すること。(ベンチの設置状況、作り、広さ等により考慮)
- ⑤その他選手同士が密接する行為や不必要な物への接触はしないこと。また、必要に応じて消毒を行うこと。
- ⑥移動中の車両は乗り合い等の密を避け、窓を開けるなど換気に十分注意すること。

試合会場及び試合中の注意事項

- ①選手はグラウンドイン後アップ開始まではマスク着用とする。
- ②指導者及びチーム関係者は終日マスクを着用とする。
- ③試合終了後は速やかにベンチを開けて、ベンチ内の椅子、スコアラー用のデスク等接触した箇所の消毒を行う。完了したら速やかにグラウンドより退去すること。
- ④ベンチ内は極力間隔をあけて密を避ける。選手数の多いチームはベンチ外で待機する。(ベンチについては提供グラウンドにより条件が異なるため状況に応じた対応をすること)
- ⑤保護者の応援は密集しないよう間隔を開けて出来るだけ静かに観戦すること。集団での大声を出しての応援等は行わないこと。
- ⑥試合終了後、整備が終わったら速やかにベンチを離れること。

※完全な注意を払っても、感染のリスクはゼロではない。代表者は、指導者、選手、保護者にしっかりと説明し、理解を深めた上で参加させること。